西条市版ＳＩＢ事業に参加して

（生徒の感想）

○私は普通科なので園芸科学科の人たちが作っている農作物を目にしたり、口にしたりすることはないのですが、自分たちの学校で採れた野菜や果物がとてもおしゃれでおいしい料理に変化していることに感動した。味覚の感動だけでなく、盛り付け方の工夫など視覚からも楽しめ、料理が出てくる度に、ワクワクしました。

○丹原高校で栽培し収穫した食材を地域のレストランで食べられるという体験は、園芸科学科の私にとって、とてもうれしいことであった。今後も、私たちの食材を使っていただきた。

○私が作った野菜を普段食べることはほとんどなかったが、今回、その野菜をとてもおいしく料理していただき、自分が作っている野菜は「おいしいんだ」と感じることができ、改めて自分たちが作っているものに誇りをもつことができた。

○地元食材を使うことの意義や活かし方などを感じられた。地元野菜の魅力も多く知ることができて良かった。このような機会を設けていただき、ありがとうございました。

○特に印象に残ったのは、ショウガのシャーベットです。ショウガをデザートとして食べるとは想像もしていませんでした。ショウガの優しいピンク色の魅力を生かし、普段とは違う食感、そしてとてもおいしく、料理を楽しむことができました。今回の事業をとおして、今後も園芸科学科とヴィルナタールとが関係を持ち続け、私たちが作った食材を使っていただけると、日頃の実習をより一層、頑張っていけると思いました。

○西条市に住んでいながら、まだまだ知らない地元の農産物が多くあったので、これを機に地元の素敵な食材についてもっと知り、そして食して、地域の良さに誇りをもとうと思いなおすことができた。

○私たち丹原高校生を招待していただき、ありがとうございました。地元でない方が、西条市の食材に魅力を感じて、西条市でお店を開いていただいことに嬉しさを感じました。

（教員の感想）

○野菜や果物の本来の味が生かされつつ、これまで見たことのない新たな姿の料理に変えられ、ワクワクしながらいただいた。普段は脇役になるような野菜や捨てられるような部分も丁寧に料理されており、愛情をこめて育てた野菜を、愛情をこめて料理され、贅沢な時間を過ごすことができた。シェフの熱い思いを料理をとおして伝わってきた。